

市の考えを問います

一般質問

9名の議員が登壇し、市執行部に対し方針等を問いました
(内容は要約して掲載しています)

2月28日

- 土子 浩正 (一括) ……14 ページ
- 1 東関東自動車道の延伸による行方市への影響について
- 河野 俊雄 (一問一答) ……15 ページ
- 1 北浦複合団地について
 - 2 国民健康保険制度広域化について
 - 3 安全安心なまちづくりについて
- 宮内 正 (一括) ……15 ページ
- 1 麻生中学校の通学道路整備について
 - 2 Uターン事業の応募、利用状況について
 - 3 麻生運動場多目的グラウンドについて
 - 4 旧麻生中学校の野球場整備について

2月27日

- 小野瀬 忠利 (一問一答) ……13 ページ
- 1 防災対応型エリア放送について
 - 2 霞ヶ浦ふれあいランド周辺の開発について
 - 3 教育行政について
- 高木 正 (一括) ……13 ページ
- 1 新年度予算への行政所感について
- 高橋 正信 (一問一答) ……14 ページ
- 1 空き家・空き地対策について
 - 2 地方創生の推進について

3月2日

- 阿部 孝太郎 (一問一答) ……16 ページ
- 1 公共交通に関して
 - 2 イノシシ被害に関して
- 栗原 繁 (一括) ……16 ページ
- 1 医療費助成制度
 - 2 児童及び生徒の登下校
 - 3 教育施設の改修・修繕
- 小林 久 (一括) ……17 ページ
- 1 情報管理
 - 2 職員の能力向上

本会議を映像で ご覧になれます。

本会議の様子を「なめがたエリアテレビ」にて、生中継しています。

また、インターネット(PC、スマホ)では、録画中継をしています。

現在、平成29年第2回、第3回、第4回定例会がご覧になれます。平成30年第1回定例会も準備が整い次第公開いたします。



なめがたネット放送局を検索し、市議会録画中継へ

霞ヶ浦ふれあいランド周辺の 開発について

問 本市の観光交流の拠点であり、市民の憩いの場でもある霞ヶ浦ふれあいランド一帯の開発をどのような位置づけをして整備していくのか

答 市長 水の科学館は、市が水資源機構から委託を受けて管理していますが、観光拠点としてふれあいランド全体を水辺の学び体験や子育ての場、特産品PRの場として一層にぎわいのある施設としていきたいと考え、水の科学館を取得し、観光物産館「こいこい」を含めた一体的なりニユールを計画することとしています。

教育行政について

問 平成29年3月、発達障害を含む障害のある幼児・児童・生徒に対する教育支援体制整備のガイドラインが示されたが、特別な支

援を要する子どもたちに対する配慮、支援について

答 教育長 特別な支援を要する子どもに対して、個々の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善、克服するため、個別の支援計画を作成し、適切な指導及び必要な支援を行っていきます。早期から切れ目のない継続的な支援、対処が必要とされていますので、できるだけ早く保護者との面談機会を設け、特別支援教育支援員を配置し、個々に応じた必要な支援を行っていきます。

問 公立幼稚園の今後の在り方について

答 教育長 平成30年度に仮称「公立幼稚園の在り方検討委員会」の設置を計画し、在園児の保護者、乳幼児健診に訪れる保護者など、子育て中の方にアンケートを実施し、望ましい幼児教育・保育の在り方、保護者の働き方、家庭の状況に応じた、教育・保育のセーフティーネットの役割を担えるよう公立幼稚園の在り方について検討し、具体化していきます。



新年度予算への行政所感 について

問 30年度予算における行政のあるべき姿、その具体性について、もう少し突っ込んだ施政方針があるべきと思うが

答 市長 29年度に経営戦略を作成し、その実行プログラムを30年度において実施していきます。

問 防災対応型エリア放送について、いつまでに終わるのか

答 市長公室長 3月までに終わるよう努力していきます。

問 今までにこの事業は何年かかって、どれぐらいの経費がかかっているのか

答 市長公室長 3年間かけ、合計で5億円となっています。

問 旧麻生市街地排水計画について、進捗状況並びに今後の計画は

答 建設部長 県が管理する城下川については、地域の協力体制を再度確認しながら放水路の計画



高木 正 議員

の復活に向け、県や国に対して要望していききたいと考えています。市で管理する前川流域については、下水道事業として進めており、今年度末には、下水道法の認可の取得が見込まれています。

問 税金の徴収について、滞納件数、金額は

答 総務部長 平成30年2月現在の滞納状況については、固定資産税で760件、軽自動車税330件、住民税770件、国保税860件で合計2700件程度の滞納があります。また、滞納額は、固定資産税が6100万円、住民税5800万円、国保税1億2600万円という状況です。

問 世界湖沼会議について、行方市の環境の多様性、潜在的な能力をいかなるメッセージで発するのか

答 経済部長 2つの湖に囲まれた水に恵まれた自治体として、水と自然と環境をテーマにセッションを行っていききたいと考えています。

その他の質問事項
なめがた農業協同組合の市有地の売却について
手賀ゴルフ場跡地ソーラー事業について



高橋 正信 議員

地方創生の推進について

問 新しい人の流れをつくる千年村構想の展開は図れないものか

答 市長公室長 千年村認証を一つの好機と捉えまして、本市に関心を持つ研究者はもちろん、若い世代との地域間交流や人的交流を進めるため、千年村構想と連携したシティープロモーション活動を今後、展開していきたいと考えています。

答 市長 行方市としての歴史、文化を市民全体が共有化できていないため、そこを市民とシティープロモーションという形の中で、共有化していきたい。また、紙媒体で観光案内とか、アントラーズDMOを利用させていただき、交流人口をふやしていきたいと思っています。

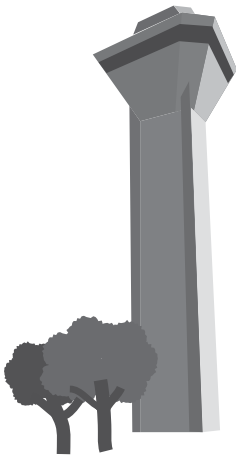
問 霞ヶ浦ふれあいランド周辺の整備計画について、3年かけて基本計画をつくって、その後、水の科学館を購入しながら2年かけ

て改修していくという構想、いよいよ行方市で一番人呼び込める場所が具体化しつつあると感じている。そこで、この分散化した施設をいかに集約化を図って交流人口の拡大を図ろうとしているのか

答 経済部長 大きな施設の配置については、現在の配置を基本に考えており、あとは人の動線・動きやすさを念頭に考えています。建物全体的な構想等については、市民のニーズ、さまざまな人の意見を聞いて検討していくことになるかと思っています。

問 ふれあいランド周辺を一大観光拠点と捉えるならば、年間100万人からの人呼び込めるのではないかと思うが所見を伺う

答 市長 ふれあいまつりだけでも6万人いきますから、やはり50万人から70万人、あとはサイクリングの拠点にもなっていますので、その規模の集客を目指したいと考えています。



東関東自動車道の延伸による行方市への影響について



土子 浩正 議員

問 市民生活への影響等について

答 市長 全線開通を見据えたアクセス道路の整備などを含めて、様々な施策を進め、本市の活性化につなげていきたい。

答 建設部長 2カ所のインターチェンジが設置され、交通ネットワークが強化され、市民の利便性の向上や交流人口の増加による観光振興、地域産業の活性化が期待されます。

問 取り付け道路、寸断される道路等について

答 建設部長 跨道橋や函渠まで市道を連結させる側道の整備により行き止まりにならないよう計画されていますが大きく迂回する形になるルートもあります。

問 市の負担について

答 建設部長 横断跨道橋や函渠、側道の工事は国において整備されま

すが、跨道橋、橋梁については5年に一度の点検が義務づけられ維持費の増大は免れない見込みです。

問 水道管敷設替え等の負担額は

答 水道課長 水道管の移設数は27カ所となり、水道会計からの支出は1億円を想定しています。

問 インターチェンジからの主要拠点へのアクセスルート計画について

答 建設部長 仮称麻生インターチェンジからのアクセスルートですが出口となる都市計画道路粗毛石神線については平成30年までに水戸神栖線までの整備が完了する予定で、その後、県が進める355バイパスまでの区間の整備を進める計画です。東側、北浦方面に向かう道路としては、(麻)1738号線を県道に昇格させ整備する案も検討されています。

問 高速道路に伴った、新たな観光ルート、誘致活動について

答 経済部長 多くの来訪者が市内の滞在する時間を増やす事が本市への経済効果をもたらし、観光の活性化につながると考えていますので、可能な施策を講じていきます。

北浦複合団地について

問 北浦複合団地の分譲価格が引き下げられるが、どのような経過でそうなったのか

答 市長公室長 茨城県内の工業団地は、県南・県西地区は需要が高まる一方で、その他の地区では分譲が進んでいない状況であり、立地条件が同程度の他県の工業用地と比較すると分譲価格が高であるとの指摘もあったことから、価格見直しを行い、1平方メートルあたり1万4800円であったものを1万2500円から1万2800円に約15%の減額が行われました。

国民健康保険制度 広域化について

問 平成30年度から都道府県が市町村と共に保険者となるが、行方市への影響はどうなるのか



河野 俊雄 議員

答 保健福祉部長 茨城県に対して毎年約3400億円規模の国からの財政支援が受けられ、国民健康保険の財政基盤が強化され、保険税の伸び幅の抑制が期待されます。また、高額な医療費の発生による急激な保険税の上昇が生じる可能性などの財政リスクについても起きにくい仕組みとなります。

問 福島県いわき市との広域避難協定による受け入れ体制は整備されているのか

答 総務部長 いわき市の原子力災害広域避難計画による避難先として、好間地区の住民、最大5300人が避難されることになり、麻生運動場と最寄りの避難所へ案内します。避難者への対応は、本市災害対策本部の避難所運営班があたり、その後速やかにいわき市へ避難所の運営を移管することになります。防災国民保護ハンドブックをもとに、職員の避難所の開設や運営についての訓練を毎年行っており、これらの訓練は、今後とも継続していく考えです。

安全安心なまちづくり について

麻生中学校の通学路整備 について

問 現在の進捗状況は

答 建設部長 危険箇所の解消は先送りできないことから、現道の中学校前交差点から谷状になっている区間について、カーブ、急勾配の解消のため、部分的な改良により、整備することとしました。現在、路線測量、詳細設計を行い、流末協議等詳細を詰めている所です。

Uターン事業の応募、利用 状況について

問 該当となった家族の反応は良好とはいえないが原因は

答 市長 Uターン世帯等の割合は約3分の1であり、やや増加傾向です。今後は、1世帯でも多くの定住、移住につながるよう取り組みを進めるとともに事業成果の検証を随時行いながら事業を推進していきます。

答 市長公室長 交付要件の宅地は本人またはその家族が所有



宮内 正 議員

し、かつ、現に居住している宅地以外の宅地で、Uターンで戻ってきた場合、そこに親御さんが住んでいて、そこに新しく家を建てた場合には該当にはなりません。この家の後継者でない方が出ていかないために、その宅地の隣接地及び所有されている土地に新しく家を建ててもらうことを目的としています。

麻生運動場多目的グラウンド について

問 平成30年度に整備されるのか

答 教育部長 助成金を活用した暗渠排水対策、芝生化工事を実施したいと考えています。平成30年度予算案に合計5670万1000円を多目的グラウンド改修工事として提案しています。

旧麻生中学校の野球場 整備について

問 麻生に野球場を整備してほしいと要望があるが考えは

答 教育部長 野球競技者の意向を踏まえて、関係団体のご意見をいただきながら、検討していきたいと考えています。



阿部 孝太郎 議員

公共交通に関して

問 公共交通の今後の展望はどのようなものか

答 市長 行政が責任をもって、早急に計画路線の整備を進めていきながら、市内外の移動手段を確保し、広域路線バス、高速バス、市営路線バス、デマンドタクシーを組み合わせることで、本市への来訪者をはじめ、交通弱者、そして高齢運転者や自動車の運転に不安を感じている方々が自分で運転しなくても、安心して生活できる環境をつくっていきたいと考えています。

答 市長公室長 1月末までの利用状況は、述べ利用者が269人、1便当たりの利用者は0.48人となり、大変厳しい状況です。今後、市営路線バスの整備を早急に進め、交通網の形成をすることで、利用者をどの程度増加できるか、経過を見守っていきます。

問 スクールバス混乗化の現状は

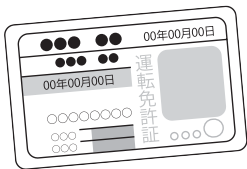
答 市長公室長 現在、混乗はしていません。最終目標は、混乗化を目指して進めていきたいと思っています。ただし、混乗化を進めるに当たり、保護者の皆様方の同意、それから地域の皆様の同意をもらわなければならず、これは非常に難しい問題です。地域の理解をいただくために丁寧な説明会、体験搭乗等を実施しながら進めていきます。

問 広域、民間企業との連携は

答 市長公室長 様々な交通モードについての情報共有を図り、市単独では解決できない課題解決のため、連携を強化していきたいと考えています。

問 高齢者の免許証自主返納について、どのような施策があるか

答 市長公室長 高齢運転者の免許証自主返納については、残念ながら現在には特に実施していません。まずは、自家用車なしでも不自由なく移動が可能で安心して自主返納ができる環境を整えていくことが先決であると考えています。



医療費助成制度

問 医療福祉費支給制度について

答 市長 子育てに伴う家計の負担の軽減を図るため、現在、小児マル福制度につきましては、生まれてから中学3年生までの間に医療機関にかかった保険診療分に医療費を助成する制度ですが、平成30年4月から、満18歳に達する日以後の最初の3月31日までに拡大を図り、子育て支援のためのさらなる施策として考えています。

児童及び生徒の登下校

問 スクールバスの実状と課題について

答 教育部長 所要時間は、徒歩通学の所要時間を考慮し、バスと徒歩で通学に要する時間に大差が発生しないように設定、乗車時間に著しく差が発生しないように、毎年見直



栗原 繁 議員

教育施設の改修・修繕

問 公共施設等総合管理計画との整合性について

しによる調整を行っています。今後、児童・生徒の減少が見込まれるとともに、保護者や地元からの停留所の新設・変更の要望が出されていることから、運行ルートの見直し、バスの台数削減、小型化について検討を行い、経費の削減に努めていきます。

答 教育部長 改修・修繕は、原則、学校・幼稚園側から修繕要望のあった箇所について現地確認を行い、必要性・緊急性等を勘案し、実施をしています。学校施設は、既に統合が終了していることから、今後は長寿命化を柱とした管理をしていきます。文部科学省においては、平成31年度から個別施設計画の策定状況を勘案して事業を採択し、国庫補助を行うことを検討しています。本市においては、平成30年度に「学校施設長寿命化個別計画」を策定し、構造物、劣化の状況、図面作成、メンテナンスや管理コスト算定など、中長期的な維持管理・更新にかかわる費用を把握し、予算の平準化を図りながら、学校施設の長寿命化に努めていきます。

情報管理

問 自治体クラウドの導入は市長 導入効果として、情報システムの運用コストの削減などのメリットが考えられることから、検討会へ参加など、導入についての検討を進めます。

職員の能力向上

問 国による働き方改革は市に影響は考えられるか

答 副市長 市としてもワーク・ライフ・バランスに対応するため、職員の働き方改革に関する取り組みとして、事務事業の効率化など既に取り組みを進めています。今後多様で柔軟な働き方が市役所に採用できるか検討を行うとともに、業績や業務の改善、効率化を重視する意識の改革を図っていきます。



小林 久 議員

問 職員のスキルアップの取り組み状況は

答 総務部長 市全体では階層別の研修会への参加や人事評価制度により職員の個の力の向上に努めています。職場訪問、総務部内会議を定期的に開催し、コミュニケーションを高めて取り組んでいます。

答 会計管理者 課内のコミュニケーションをとって、よりよい方向に導き出すこと。また、業務の改善では、システムが改正になるとき、業務の見直しをするとき他市の状況も確認し改善を少しずつ独自で行っていることもスキルアップにつながっていると思います。

答 経済部長 時代によって要求されるスキル、情報、能力も変わってくる。必要な研修等、積極的に受講、参加させる。例えば農林水産課でここ数年GAPの説明会等に、また農業適正使用の講習会等、商工観光課では、消費者行政の研修、SNS運用の研修。環境課では、最近アライグマ防除の従事者の研修等、必要なものも変わってきています。

委員会レポート

《議会運営委員会》

委員長 岡田 晴雄
平成30年1月29日

1月30日

委員会運営・議会運営の効率化について

静岡県 御殿場市議会

■委員会運営について

委員の任期において、所管の中から、年間テーマを定め研究に取り組んでいました。

各委員会の行政視察は、テーマに沿った視察先とし、視察を実施していました。各委員から報告書を提出してもらい、委員長がとりまとめ、視察報告書として議長へ提出していました。その後、視察報告会を実施し、全議員へ報告し、情報を共有していました。

■議会運営の効率化

一般質問の方法について、行方市議会と違うところは、質問事項ごとに区切って、質問事項の最初に登壇します。質問事項が2つ以上ある場合は、事項1の再質問が終わってから、事項2に移り再度、登壇して質問を行っていました。

また、議会基本条例を制定していないが、条例に縛られないで、より柔軟に運用できることがメリットだと考えているとのことでした。



〔静岡県 御殿場市議会〕

政策立案・政策提言について

東京都 小平市議会
■政策立案・政策提言について

常任委員の任期（2年）ごとに、それぞれ1件の政策課題を設定し、当該政策課題にかかる所管事務調査を積極的に行うことにより、その成果をもって政策提言

《次ページへつづく》